

第4回水産防疫専門家会議の概要

1 日 時

平成27年8月5日（水） 15：30～17：30

2 場 所

農林水産省 消費・安全局第1会議室

3 出席委員（敬称略）

伊藤 直樹、井上 潔（座長）、岩下 誠、小川 和夫、熊谷 明、福田 穰、
水野 芳嗣、三輪 理、森 広一郎、湯浅 啓、良永 知義、吉水 守（座長代理）

4 会議の概要

（1）水産防疫の枠組みの見直しに関する今後の取組方向

事務局から、「水産防疫の枠組みの見直しに関する今後の取組方向」（資料1）に基づき、リスク評価を踏まえた省令改正並びに水際防疫及び国内防疫の強化等について説明があり、見直しの方向性について了承された。

（2）リスク評価の結果

事務局から、委員の協力により、本年5月に取りまとめられたリスク評価書の結果について説明があった。

委員からは、貝類の疾病のうち「アワビの細菌性水疱症」については、海外の文献では「水疱症」ではなく「膿疱症」という用語が使用されていることが多いことから、疾病名を「アワビの細菌性膿疱症」に変更することとなった。

（3）水際防疫の見直しに関する今後の基本方向及び国内防疫の見直しに関する今後の基本方向

事務局から、水際防疫及び国内防疫の見直しに関する今後の基本方向について説明があり、了承された。

また、委員からは、①輸入対象動物が万が一疾病に罹患していた場合に備え、管理飼育を行う施設の排水処理や設置場所は十分注意する必要がある、②国内で特定疾病が発生した場合の防疫措置は、各疾病の特徴を踏まえた科学的データに基づき、水産資源の保護の観点にも着目した実効性のあるものとする必要がある、③海外で新たな疾病が発生した場合、輸入者や養殖業者はもとより、大学を含めた関係団体に対する情報提供と円滑な周知徹底が重要である等の意見が述べられた。

（了）